

東北の地管生にて第2ラウンド。1戦目の茂木ではブレーキトラブルに泣かされましたがテクニカルなコースレイアウトはロードスターのコーナリング特性が活かされますので期待大です。今回は前回同様の村上、雨宮に加え地元のサム選手をCドライバーに加えてコースの攻略のアドバイスも頂き3人で走ります。



5月22日 金曜日 公式練習 1枠目は村上がコースインシマシンの最終チェックして雨宮選手に交代。すぐにコースに慣れていきタイムを更新していきクラス11位。2枠目は新品タイヤでアタックして予選のフィーリングに合わせますが新しく張り替えた路面にフィットせずにクラス8番手。合間にはサム選手と国松メカに協力頂きセットアップを進めていきます。そして夕方の3枠目には改善されたセットが決まりクラス5番手で終わり決勝のロングスティントに自信が出てきます。



5月23日 土曜日 公式予選日 土曜日は快晴ですが気温は30°C。お昼からは決勝のグリッドを決める予選タイムアタックです。まずはAドライバーの村上から。勢いよく飛び出していくタイムアタック開始と思ったらあれ、ブレーキおかしい？そのまま3コーナーでフルブレーキングしたらペダルが奥まで入る・・・。ピットで対処してもらいますが症状は変わらずブレーキを頑張らずにドライビングを切り替えてなんとか誤魔化して走り1分35秒021でクラス9位と悔しい結果に。合間にブレーキのエア抜きしてBドラの雨宮も頑張ってくれて1分35秒158で合算でクラス12位です。Cドラのサムさんはレーススペースの確認してくれていいデータがとれました。



5月24日 日曜日 決勝 朝一のウォーミングアップ走行でドライバーチェンジの最終確認してお昼から決勝になります。ブレーキの方も問題なくクラス2位のタイムで決勝も期待が高まります。暑くなったお昼過ぎから3時間の耐久レースがスタートになります。スタートドライバーはCドライバーのサム選手が努めます。PM1時半にローリングスタートからグリーンシグナルでレース開始。スタートして1、2コーナーで2台にパスされますが冷静に抜き返して徐々にペースUPしていきます。順調に走ってた20分過ぎにセーフティーカーが入りこちらもそれに合わせてドライバーチェンジ。Bドライバーの雨宮選手に交代してコースに戻ります。雨宮選手は速いペースで順位を上げていきクラス5位に上がりラストスパートと思ったらまたまたセーフティーカーが入りドライバーチェンジでAドライバーの村上に交代してラスト1時間半のロングスティントになります。クラス5位争いでこちらは決勝ラップは自信があるので表彰台も見える??と言う感じでリスタート。序盤は順調に走りフィーリングも良くてこれはいけると思い前車を追いかけるとSPアウトで前を走る86がいきなりスピンしてコースをバックで塞ぎ88号車のドアからリアタイヤに激突。ハンドルが右に15分ほど曲がっているのでリアのアライメントが大きく狂ってると思いながら無線で状況を伝えながらとにかくブレーキングでリアが右に走るのを頑張れない。最終コーナーも5速で飛び込むと真ん中まで吹っ飛んでいく恐怖と闘いながらなんとか36秒台で走りますがラスト30分でピットにもどり無念のリタイヤ。本当に表彰台が見えていただけに悔しい結末にチーム全員が落胆・・・本当に悔しいレースになりました。



総括 チームオーナー村上



今回金曜のフリー走行からコーナリングスピードで他を圧倒して安定した走りタイムを刻むことが出来たので決勝は戦えるという実感が初めて芽生えました。決勝でもその通りの展開に他のチームがペースが落ちる中でもタイヤ交換なしに安定してタイムを刻み表彰台が見えてきたのに他の車両との接触は本当に運の無さに泣きそうですがこれもレースです。しかし今後戦えるという自信を得たのは大きいです。次戦は直線の長い富士ラウンドですがチーム一丸となり1つでも上位進出出来る様に戦っていきますので応援並びにサポートよろしくお願いします。

